

作品募集〈写真・歌合わせ〉

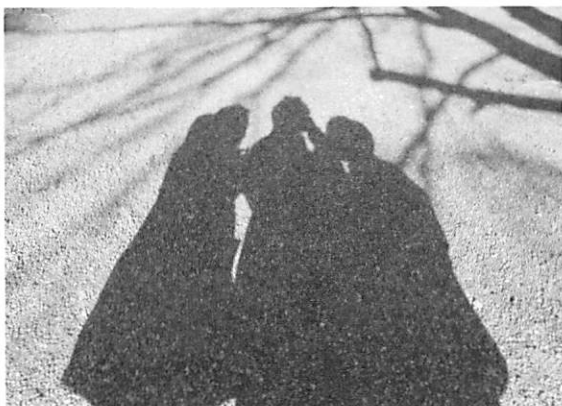
*写真A・写真Bのいずれかを素材に短歌を一首、自在に遊びのつもりで作って送ってください。

A



【写真：田土成彦】

B



【写真：久我田鶴子】

《要項》

- ・締切…平成30年5月末日
- ・掲載…平成30年8月号
- ・官製はがきに選んだ写真AかBかを明記の上、一首を書いて左記にお送りください。(一人一首のみに限ります。)

〒535-0005 大阪市旭区赤川4-23-17 田土成彦

【第66回 地中海全国大会（福島大会）ご案内】

◆日時 平成30年（2018年）5月20日（日）～21日（月）、1泊2日

◆会場 飯坂温泉 ホテル聚楽

〒960-0201 福島県福島市飯坂町字西滝ノ町27

TEL：024-542-2201 FAX：024-542-0952

◆会費 25,000円

◆交通 JR東北新幹線・東北本線「福島」駅下車。

・福島駅西口よりホテルまでのバス3便をご利用ください。

① 11：30（ホテルマイクロバス28人乗り2台）

② 13：00

③ 13：30

・福島駅から電車（福島交通飯坂線）で23分、飯坂温泉駅下車。ホテルへのシャトルバスあり。

・福島駅からタクシーで約30分。

◆日程 5月20日（日）

受付 12：30～

運営委員会（軽食付） 13：00～14：20

班別歌会Ⅰ 14：30～16：30

講話「福島から思いを言葉に託して」

二階堂 晃子 氏 16：45～17：45

懇親会 18：30～20：30

※写真撮影は班別歌会の会場で班ごとに行います。

5月21日（月）

朝食 7：30～8：30

班別歌会Ⅱ 9：00～10：50（「地中海」5月号持参）

総会 11：00～12：00

解散 12：00（昼食のおにぎり、用意あり）

★会計担当：永塚 節子

〒250-0002 小田原市寿町3-5-21 第2ロイヤルハイツ203

(TEL/FAX：0465-43-9795)

★事務局：〒960-0462 福島県伊達市本町30

藤田美智子（TEL：024-583-2158 e-mail：fujita-ms@mbj.ocn.ne.jp）

◆運営 地中海本社・新樹の会（協力・福島支社）

大会委員長・事務局 藤田美智子

大会副委員長 藤森 巳行（TEL：048-296-7680 FAX：048-296-5347）

会計 永塚 節子・大浪 美雪

神田通信

◆車窓に流れる景色がすっかり春になった。間もなく桜があちこちで満開になるだろう。花の時は短い。今年もしつかり楽しみましょう。

(朝井)

◆今年はまだ花も見ず、なにか心せわしく過かしてしまいます。もうすぐ大会との話題も出て、楽しみにしています。

◆永塚さんの「かえるっば」

オオバコは、片栗粉の代わりにとろみを付ける料理に使えるところを聞いた。漢方の店で粉末が買える由。試してみよう！ (和美)

◆今月はホワイトデーにお手伝いに来ました。スギ花粉の飛散がピークですが、ここには花粉症のひどい方はいらっしやらない様子。さすがです。

(玉井)

◆金子兜太氏が亡くなった。代表句を見ると、季語や定型にとらわれないものが多い。名句、名歌は心なのだ。

(小野)

◆福島大会の詠草も締切られ、

いよいよ本番間近となってきました。いつもはお会いできない皆様と短歌中心に過ごせるのを楽しみにしています。

(大浪)

◆わが町の春のイベント、びっくりひな祭りが三月十日過ぎに終わりました。七メートルのビッグひな壇を見上げる人たちでにぎわいました。

(茂木)

◆「この国に乞食なき日の必ず来ん聖ガンジも死にて久しき」昭和三六年の『印度の門』にある香川進の歌。インドは今もって乞食があふれ、エネルギーでした。

(磯田)

◆啓蟄を過ぎたとはいえ、まだまだ朝晩は寒いのにケロケロとあたりで蝦蟇が鳴きはじめた。ただ、わが家への訪問は遠慮ねがいたい。

(三好)

◆姫路の茶道教室はさすがに遠くて自転車を通える所に鞍替えした。毎回、手作りの和菓子でお土産がいっぱい！二月二回の癒しタイムになっている。

(高尾)

◆民衆の心をうたう詩を、俳句にも社会性を、と詠み続けた金子兜太さんが逝去。一日早い訃報も流れ、一刻にしのぎを削る報道のさまも表出。

(浜谷)

◆めだかが軒下の水瓶の中で冬を越した。今日、水面近くに姿を見せた。「春になればしがこもどけて……夜が明けたと思うべな」の歌詞のように。(楢垣)

◆「原発事故の理不尽さに抗して、それぞれに生きること、忘れずに、考え続け、表現し続けることこそ「被災者の責任」だ」飯館村民救済申立団の方の言葉。耳の底に残っている。

(藤田)

◆子供の頃の夜空はきれいだった。真っ黒な紡錘形の物体が浮かんでいるのを見た。正確には、ように思う。不思議と鮮明なあれは夢だったのだろうか。

(田土)

◆創刊月。表紙を一新しました。木立の向こうに見える太陽のイメージです。香川進の作品にそんな歌がありました。

◆関根和美著『記憶する丘』と永塚節子歌集『かえるっば』の批評号です。社外から忍足ユミ氏と春日いづみ氏の行き届いた

ご批評をいただきました。ありがとうございました。

◆オリブ集も新メンバーです。来年の四月号までの一年間、一層のご健詠を！

◆5月20・21日は福島での全国大会。参加される方は、今号を持参してください。

(久我)

◆三月二十四日現在の全国大会参加申込みは一一〇名になっています。5月20日、福島駅西口から11時半にホテルのマイクロバスが、午後一時と一時半にチャーター便が出ます。ご利用ください。実り多き全国大会にしたいと準備を進めています。

(藤森)

●5月・6月の本社予定●

5月7日(月) : 校正

5月15日(火) : 編集

6月5日(火) : 校正

6月14日(木) : 編集

6月23日(土) : 歌会

* 5月の歌会はお休み

クリップ

■入会届・退会届について

葉書に、①氏名(ふりがな)

②住所 ③電話番号 ④生年月日 ⑤性別 ⑥送本開始(停止)月を記入の上、本社に提出してください。退会届の場合は、①②⑥の記入をお願いします。急な送本停止には対応しきれませんので、ご了承ください。

■会費納入について

三月末をもって会計年度の締めになります。新年度が始まりました。平成三〇年度分の会費を納入してください。会費は、半年分、または一年分を前納することになっています。各欄の月額はその通りです。

・A欄 二〇〇〇円

・B欄 一五〇〇円

・C欄 一〇〇〇円

・購読 一〇〇〇円

二十歳未満の学生は五〇〇円です。(若い人たちは非ご勧め)

誘ってください)

00180・4・179569 地中海社

振替用紙の連絡欄に内訳を書きください。支社・グループでまとめて納入していただくと幸いです。

■原稿用紙の申し込みについて 一冊一五〇円。それに送料がかかりますので、まとめての申し込みがお勧めです。本社、または担当の茂木斌までご連絡ください。

■本誌の追加注文について

本社に葉書にてご連絡ください。代金は一冊一〇〇〇円。会費と同じ「地中海社」の口座にお願いします。

■見本誌について

勧誘用に見本誌をお求めになる場合は、送料のみご負担いただけます。二冊までなら二〇〇円分の切手を同封してお申し込みください。

■歌集を出版する際には

地中海叢書番号をご請求ください。葉書に住所氏名の他に、①歌集名(未定の場合には仮題

でも)②発行時期 ③版元を記入して本社宛に。折り返し、登録した叢書番号と事務手続きの文書をお送りいたします。

出版後には本社保管用に一冊お送りください。

■九曜書林は、比較的安価な歌集出版を考えていて、自分ではどうしていいか分からず困っている方のために立ち上げました。印刷・製本は、本誌の印刷をしている京成社にお願いしています。二、三〇万円くらいでも予算に応じた出版が可能です。まずは、編集部にご相談ください。

■桃原邑子歌集

『沖繩〈新装版〉』注文受付ご注文を受け付けています。

一冊2000円(税と送料は桃原氏負担)です。六花書林からの出版ですが、代金の振り替えは九曜書林の口座を使わせていただきます。口座への代金納入をもってご注文とさせていただきます。冊数・氏名を明記の上、左の口座へお願いします。

00180・2・790055 九曜書林

本社よりスマートレターにてお送りいたします。

■本社への連絡について

葉書か封書でお願いします。

電話はありますが、常駐する者がおりませんので、誰かが本社で作業している時にしか通じません。急を要する場合には、
・藤森：TEL 090-8301-6423
・久我：TEL&FAX 043-241-7925
までご連絡ください。

■本社の窓口は、いつでも開いています。どんなことでも遠慮なくご相談ください。歌集の出版につきましても、予算やご希望に応じてできる限りの対応をさせていただきます。ご意見その他もどうぞお寄せください。

